

京都・大阪・神戸へのアクセスもスムーズで オフタイムも楽しく過ごせます

アクセスが良いのも当院の魅力のひとつ。

大阪(梅田・なんば)はもちろん、京都や神戸にも気軽に出かけることができます。
空港にも近いので、旅行や帰省もスムーズです。

神戸まで **56** 分



梅田まで **38** 分



京都まで **45** 分



Osaka University Hospital

看護職員募集案内



阪大病院へのアクセス

- 大阪モノレール彩都線: 「阪大病院前」下車
- JR東海道本線(京都線): JR茨木駅から近鉄バス(阪大本部前行き)で「阪大医学部病院前」下車
- 阪急電鉄京都線: 阪急茨木市駅から近鉄バス(阪大本部前行き)で「阪大医学部病院前」下車
- Osaka Metro御堂筋線: 北大阪急行千里中央駅から阪急バス(阪大本部前行き)で「阪大医学部病院前」下車



大阪大学医学部附属病院

OSAKA UNIVERSITY HOSPITAL

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番15号 TEL.06-6879-5111(代表)



大阪大学医学部附属病院

OSAKA UNIVERSITY HOSPITAL

看護職員数 **1,197** 名
 専門看護師 **9** 名 認定看護師 **18** 名 病床数 **1086** 床
 外来患者数 **2,272** 名/1日 入院患者数 **820** 名/1日



副病院長・看護部長 **岩崎 朋之**

患者さんとともに歩む 心のこもった看護を 目指して

看護部は、当院が展開する先進的で高度な医療に対応した「安全で質の高い看護」、「患者さんとともに歩む看護」を目指し、看護職員の育成に力を注いでいます。この目標を実現するために1年目から3年目の教育を担う教育実践室と、4年目以降のキャリア支援を行うキャリア開発センターを設置し、教育専従者を配置していることが大きな特長です。教育実践室が中心となって行う新人教育は、担当者が綿密な教育プログラムを組んだ上で少人数制の研修を実施し、一人ひとりの課題に応じた指導によって実践力を身につけることができます。そしてキャリア開発センターがそれぞれの個性を伸ばし、希望するキャリアデザインをサポートします。

また、すべての看護職員がイキイキと働くためには、ワークライフバランスも欠かせません。看護部では夜勤の勤務時間の短縮(16時間から12時間へ)や、有給休暇取得の推進、育児支援の充実などに取り組み、できる限り負担を和らげて高いモチベーションを持ちながら働きつづけられる環境づくりに努めています。

私たちが求める人物像は、「相手を思いやる気持ちのある人」。それは患者さんに対してだけでなく、ともに働く仲間にも当てはまることです。技術や知識だけでなく人間力も育み、患者さんや仲間から信頼される存在になっていただくことを期待しています。

患者さんとともに歩む看護をめざして

大阪大学医学部附属病院 看護部がめざすこと

看護部の理念

先進的で高度な医療に対応した安全で質の高い看護を提供すると共に、豊かな人間性と高度な知識・技術をもった専門職者の育成と看護の発展に寄与する。

基本方針

患者の権利を尊重し、患者とともに歩む看護の実践

患者を全人的に捉え、心のこもったあたたかみのある適切なケアの提供

優れた専門職者育成による社会・地域医療への貢献

看護の質向上と業務改善に繋がる臨床看護研究の推進

めざす 看護師像

専門的知識・技術をもって、対象の必要に応じて根拠に基づいたケアが提供できる

自己のキャリア開発に積極的に取り組み、自己の目標を達成することができる

人間性・社会性に富み、医療人、組織人としての責務を果たすことができる

看護師としての第一歩を踏み出す

新人教育年間計画

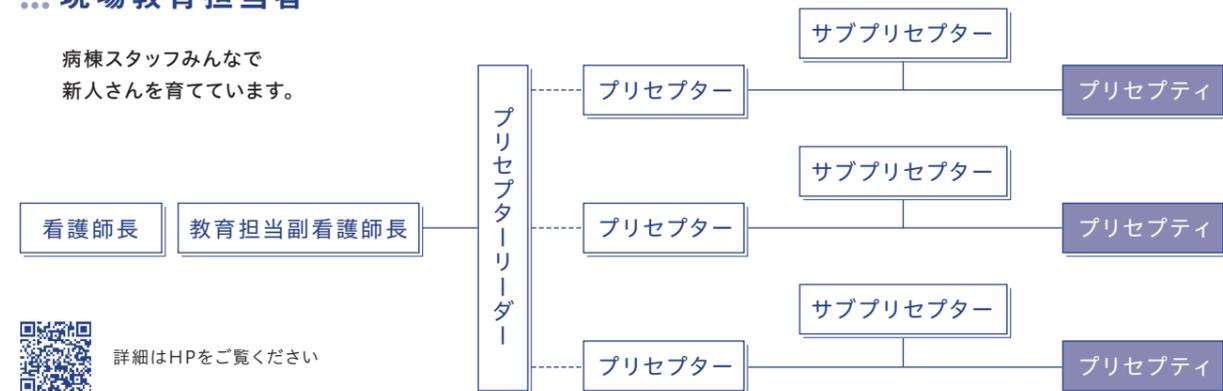


「バンビシール」

臨床経験の少ない新人看護師は、1年間「バンビシール」を名札に貼ります。目的は、看護師としての自覚をもつため、そして所属する病棟以外のスタッフに新人であることを周知して、指導・サポートを受けられるようにするためです。患者さんやご家族も新人看護師と知ること、あたたかく見守ってくださいます。

現場教育担当者

病棟スタッフみんなで新人さんを育てています。



詳細はHPをご覧ください

先輩看護職員からのメッセージ message



西3階病棟(総合周産期母子医療センター) 2022年入職

集合研修では丁寧に指導していただき、グループワークなどを通じて看護に対する理解を深めています。毎回さまざまな状況を想定したロールプレイングが行われ、その様子を動画で確認できるので自分の課題を把握できます。シミュレーターを使った演習が多く、病棟に戻って活用できるスキルを身につけられることも特長です。私は助産師として周産期母子センターに所属しているのですが、先輩のフォローのもと出産に携わらせていただくなど、看護の責任や喜びを教わっています。



西5階病棟(整形外科) 2022年入職

当院で実習を受けさせてもらった時に、職場の風通しが良く働きやすい雰囲気だったので「ここで働きたい」と思いました。高度な医療に携わることができ、教育が充実していることもポイントでした。働きはじめてからの感想は期待以上です。集合研修で採血やルートキープなどの基礎技術を学べる他、病棟独自の教育プログラムで術前術後のケアなどを経験できました。先輩方が親身になって指導していただき、少しずつステップアップできている手応えを感じています。



東4階病棟(ICU) 2021年入職

2年目になると自分で考えて看護を展開する範囲が広がり、1年目で学んだことが役立っています。と言ってもいきなり実践するのではなく、カンファレンスで部署のみなさんと共有し、指導していただくから実践に移すので安心です。その際、看護師だけでなくICU専属の医師からもアドバイスをいただけるので視野が広がります。部署内の教育はチェックリストに沿いながら、一人ひとりの状況に応じて指導して下さるので、着実に自分の課題を解決して成長していけます。

新人看護職員研修担当者からのメッセージ message



教育実践室 教育専従者

新人教育の目的は、先進的で高度な医療に対応できる看護職員となる土台を築くことです。そのために、心のこもったあたたかみのある適切なケアの提供を目指して、患者さんに関心を持って看護師に成長できるように研修を実施しています。また、専門家から直接的な指導を受けたり、様々なシミュレーターでトレーニングもできます。集合研修ではリアルなシチュエーションをもとにしたシミュレーションでそれぞれの課題を一緒に考えます。その課題を達成できるように現場の指導者と連携しています。そして、現場教育ではプリセプターを中心に部署全体で新人看護師をサポートし、それぞれの能力に合わせて成長していくように支援します。

様々な分野の専門看護師と認定看護師が 実践のスペシャリストとして活躍

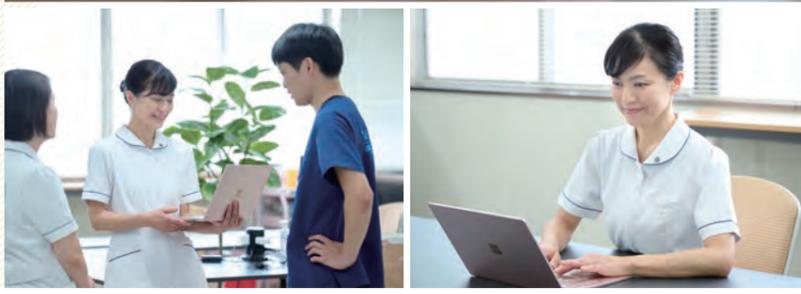
自分のスキルを発揮して 多くの人の安全を 守ることがやりがい

私が認定看護師を目指すきっかけとなったのは、移植病棟で骨髄移植と臓器移植に関わる中で感染症対策の重要性を感じたことです。それから先輩が主催される勉強会に参加して感染管理のやりがいを知り、専門的な知識を身につけたいと思い資格を取得しました。その際、先輩の勧めやサポート体制が後押しになりました。

私の取り組みは、みなさんに感染対策を実践してもらってはじめて効果が生まれるため、その基本を理解してもらい、実行してもらえる支援を心がけています。また病院に留まらず、地域の高齢者施設の感染対策にも力を注いでいます。このように自分のスキルを多くの人のために役立てられることがスペシャリストの醍醐味です。



感染制御部
感染管理認定看護師



専門・認定看護師

精神看護専門看護師 2人	緩和ケア認定看護師 1人	クリティカルケア認定看護師 1人	糖尿病看護認定看護師 1人
がん看護専門看護師 3人	がん薬物療法看護認定看護師 1人	集中ケア認定看護師 1人	呼吸器疾患看護認定看護師 1人
小児看護専門看護師 1人	がん放射線看護認定看護師 1人	不妊症看護認定看護師 1人	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 1人
在宅看護専門看護師 2人	感染管理認定看護師 4人	心不全看護認定看護師 1人	
母性看護専門看護師 1人	皮膚・排泄ケア認定看護師 3人	新生児集中ケア認定看護師 1人	

看護実践のスペシャリストを目指して 看護専門外来

当院の看護部の特長のひとつとして、特定の領域に関する専門的なスキルを備えた専門看護師や認定看護師をはじめとするスペシャリストが数多く在籍し、活躍していることが挙げられます。そして、入院患者さんだけでなく通院されている患者さんとそのご家族に対して、専門性の高い看護を提供するために看護専門外来を実施。2004年に糖尿病ケア・看護外

来が開設されて以来、2011年にスキンケア外来、2019年に呼吸ケア・看護外来が設けられました。領域を問わず、どの外来もエビデンスに基づいた看護を展開するとともに、患者さんの良きパートナーとして一人ひとりが“その人らしく”暮らせる支援に取り組んでいます。

親元を離れての一人暮らしも、 パパ・ママになってからも安心の環境

福利厚生

病院の敷地内外に看護職員用のワンルームマンションがあり、敷地内に女性専用、敷地外に大学職員用(男女入居可)があります。育児支援として大学敷地内に2つの保育園を設置しています。産後3年間の育児休業を取得できる他、短時間勤務制度を導入しており、子育て中の職員が働き続けられる体制を整えています。それ以外にも、夏期休暇や介護休業、退職手当と特別賞与のどちらかを選べる制度など、多様な支援を行っています。



看護師宿舎(フロア)



たけのご保育園



生命科学図書館



最先端医療イノベーションセンター棟



看護師宿舎(外観)



東12階病棟
(糖尿病・内分泌・代謝内科・免疫内科)
2007年入職

interview

ママさんナースになり 多くのよろこびと出会う

3人の子どもの育児をしながら仕事もがんばっています。入職した頃は結婚後のキャリアについて深く考えたことはなかったのですが、子どもを出産した時に働き続けたいと思いました。職場に先輩のママさんナースがおられたことも励みになりました。育児をしながら仕事を続けるためには育児支援が欠かせません。私も育児後は短時間勤務や夜勤免除の制度を利用しています。また、1人目の子どもが小さかった時は院内保育園のお世話になりました。当時は初めての育児ということもあり、近くに子どもがいて安心できました。

ママさんナースになったことで、ご家族の目線に立ったケアを意識するようになったり、子どもが「かっこいい」と言ってくれたり、たくさんの成長や発見があり、働き続けて良かったと思っています。

